

平成29年7月25日

第1回 学校保健委員会 14:00～

テーマ『今年度の学校保健および給食関係の年間計画について』  
『本校におけるアレルギー対策について』

〈質疑応答〉

- エピペン使用の児生への今後の対応については？  
→現在エピペンを所持している生徒はいないが、今後所持生徒の有無に関わらず、全教職員向けに、エピペンの使用や学校での保管等を含めた研修の実施を検討している。
- アレルギー対策において起こりうるミスについては？  
→昨年度実際にアレルギーのある生徒の献立表を保護者、栄養教諭、担任がチェックする際にチェック漏れのミスが起きた。その後は保健部員が月ごとに日々の献立表を事前に栄養教諭と読み合わせ、二重にチェックをかけることでミスが起こらないように対策を行っている。
- アレルギー対応の除去食作りの際、厨房を分けるなどの対応は可能なのか？  
→同じ区画の中で、除去食作りのための別スペースを設けるという対応はできるが、全く別の場所で行うことは現状難しい。またその様に対応している学校は少ない。微量であってもアレルギー反応を起こす生徒に関しては弁当対応を保護者に依頼している。
- アレルギーの生徒自身や、周りの生徒への教員の配慮はどのようになっているのか？  
→本人および周りの生徒が、アレルギーに対してよく理解をしている場合もあればそうでない場合もある。理解が難しい生徒に関しては、「みんな好き嫌いがある様に、〇〇さんも苦手なものがあるんだよ。」というような話を児生にすることはある。現在保健等の授業でアレルギーを題材に取り上げたことは無いが、今後授業に取り入れていくことを検討していく。

○アレルギー調査の新様式について、保護者にご意見を頂きたいという旨を保健部よりお伝えした。